

テーマ
日・n 若者の休日の過ごし方ランキング！ —〇〇大学の場合—
目標
学習指標：3 自分の休日の過ごし方について、趣味なども交えて n 語でプレゼンテーションすることができる。 日本語を学習している n 語話者のプレゼンも聞き、自分たちの過ごし方と比較することができる。
コミュニケーション能力指標
趣 1-a 休みの過ごし方について、会話できる。 趣 1-c どんなことをするのが好きか、口頭で紹介しあうことができる。 趣 2-b 休みの日にしたことについて、感想を含めて、口頭で伝え合うことができる。 趣 2-e 休みの日によくすることについて、感想を交えて会話できる 趣 2-f 好きなものや趣味が何か、口頭でまたは書いてやりとりができる。 趣 3-b 好きなことや熱中していることの、すばらしさやおもしろさを、口頭で伝えることができる。 趣 3-c 趣味や習い事について、口頭で説明できる。 趣 3-d 自分の周りではやっていることやものについて、写真や実物を使いながら、口頭でまたは書いて紹介できる。
学習シナリオ
〈場面状況〉 a 大学で n 語を学んでいる学生が、日本語を学ぶ n 語母語話者との交流会において、お互いの国の若者の休日の過ごし方についてそれぞれの学習言語で発表することになった。 〈活動の流れ〉 <ul style="list-style-type: none"> ・休日の過ごし方、趣味の尋ね方や答え方について口頭で復習し、ペアに分かれて質問し合う。 ・その後クラス全体でどのような休日の過ごし方があるのか集計して統計をとり、その中から上位 5 項目のランキングについてグループ分けする。(4～5 人程度で、調整は学生同士で行う) ・個人の活動内容 (いつ、どこで、何を、誰となど) について n 語でリストアップする。(後で教員に提出) ・リストアップした内容を各グループ内で検討する (母語)。 ・検討した内容を n 語で発表原稿としてまとめる。(後で教員に提出) ・原稿に合わせて、写真等を用いたスライド原稿を作成する。 ・グループごとに一度クラスの前でリハーサルをし、他のグループと教員と共に相互的にフィードバックを行う。 ・フィードバックをもとに修正を行う。 ・交流会当日にパワーポイントを用いて発表し、言語を問わず質疑応答を行う。 ・n 語話者のプレゼンを聞いて共通点、相違点、その背景となる要因について考える。 ・図書館やインターネットで日本や n 国の他世代、及びその他の国の余暇の過ごし方について調べる。 ・振り返りシートにまとめる。(後で教員に提出) ・振り返りシートの内容をクラス内で共有し、母語でディスカッションして全体のまとめとする。
総括的評価
<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼン (発音、表現、アイコンタクト、伝わりやすさ、構成) ・振り返りシート

ワークシート3×3+3分析

	言語領域	文化領域	グローバル社会領域
わかる	<ul style="list-style-type: none"> ・休日の過ごし方、趣味の尋ね方や答え方について n 語で口頭で復習する (A1) 	<ul style="list-style-type: none"> ・リストアップした内容を各グループ内で討論する (母語) ・文化的に気づいたことや感じたことについて母語で振り返りシートにまとめる (D1) 	<ul style="list-style-type: none"> ・自他の文化の相違点や共通点について気づく
できる	<ul style="list-style-type: none"> ・休日の過ごし方、趣味の尋ね方や答え方について n 語で口頭で質問し答えることができる (B1) ・個人の活動内容 (いつ、どこで、何を、誰となど) について n 語でリストアップする (B) ・討論した内容を n 語で発表原稿としてまとめる ・グループごとに一度クラスの前でリハーサルをし、他のグループと教員と共に相互的にフィードバックを行う ・パワーポイントを用いて発表し、質疑応答を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・パワーポイントを用いて発表し、質疑応答を行う (E1/2/3) ・自他の文化について共通点、相違点、その背景となる要因について考察し、母語で振り返りシートにまとめる 	<ul style="list-style-type: none"> ・休日の過ごし方があるのか集計して統計をとる (H2/3) ・統計に基づき上位 5 項目のランキングについてグループ分けする (H1) ・日本と他国の休日の過ごし方について比較可能なデータを探す (H1/3) ・討論した内容を n 語で発表原稿としてまとめる (H1) ・原稿に合わせて、写真等を用いたスライド原稿を作成する (H) ・グループごとに一度クラスの前でリハーサルをし、他のグループと教員と共に相互的にフィードバックを行う ・フィードバックをもとに修正を行う (H2) ・パワーポイントを用いて発表し、質疑応答を行う (H3)
つながる	<ul style="list-style-type: none"> ・パワーポイントを用いて発表し、質疑応答を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・お互いの文化を紹介し合い、意見交換をする 	<ul style="list-style-type: none"> ・お互いの趣味や休日の過ごし方について話し合い、交流の幅を広める
三連携	連携 1： 自分の関心のあることについて意欲的に発信する、グループ作業を通じて積極的に活動に参加する、IT 操作など得意な分野を生かす 連携 2： 既習の語彙および表現、情報 連携 3： 交流相手、図書館やインターネット		

指示文

日本語を学ぶ留学生と交流会で、自分たちの休日の過ごし方についてプレゼンテーションを行います。

休日の過ごし方についてペアに分かれて質問し合い、その後クラス全体でどのような休日の過ごし方があるのか統計を取って下さい。

ペアワークについては n 語で、全体の統計は日本語で構いません。

統計結果から、上位 5 項目について 4 ~ 5 名で人数を調整しながらグループ分けをして下さい。

個人の活動内容について n 語で書き出して、教員に提出して下さい。

集めた活動内容についてグループで話し合い、10 枚程度のスライドを作成し、台本を n 語で作成して下さい。スライドにコメントを付与する場合も n 語を用いて下さい。

プレゼンテーションはメンバー全員が発表できるようにうまく分担して下さい。

台本は基本的に暗記し、正確で聞き取りやすい発音や表現を心掛けて下さい。

その後リハーサルを行い、それに対するフィードバックをもとに全体的に修正を行って下さい。

交流会後に母語で振り返りシートを作成して下さい。その際、図書館やインターネットで日本や n 国の他世代、その他の国の余暇の過ごし方について調べ、参考資料（既存の調査報告など）があれば、活用できるか検討して下さい。

ループリック

	目標以上達成（4点）	目標達成（3点）	あと1歩（2点）	もっと努力（1点）
アイコンタクト	資料、メモをほとんど見ずに、聴衆も十分に意識できていた	資料、メモを見ることもあるが、聴衆を意識できていた	資料、メモを見ていることが多く、聴衆を意識していない	資料、メモばかりを見ていて、聴衆を全く意識していない
伝わりやすさ	聴衆の反応に合わせて適度な間を挟み、音声も明瞭でナチュラルスピードで発表できた	音声も明瞭で、ナチュラルスピードで発表できた	時折詰まるところがあり、音声も明瞭でない箇所があった	終始詰まることがあり、音声も不明瞭であった
スライドの構成	内容に即した視覚資料であるうえ、色彩やデザインに工夫が見られ、聴衆を惹きつける魅力があった	内容に即した視覚資料を提示し、全体的な流れにまとまりがあった	内容に即した視覚資料は提示しようとしているが、全体的なまとまりがなかった	視覚資料が不十分で、内容に即していなかった
表現の豊かさ	既習項目に加え、自ら未習の表現を取り入れて、バリエーション豊かな言語表現を用いていた	既習項目を十分に取り入れて、バリエーション豊かな言語表現を用いていた	既習項目は取り入れていたが、同じ表現の繰り返しが見られた	既習項目を取り入れてはいたが、同じ表現の繰り返しに終始していた
発音	n語における発音の規則性やイントネーションのパターンからほとんど逸脱することがなかった	n語における発音の規則性やイントネーションのパターンから逸脱することもあったが、内容は理解できた	n語における発音の規則性やイントネーションのパターンから逸脱することが多々あったが、内容の理解を妨げることはなかった	n語における発音の規則性やイントネーションのパターンからの逸脱が著しく、内容の理解を妨げるものだった
振り返り	目標文化と自文化を比較して相違性或共通性を理解し、その背景にある要因の考察ができた。	目標文化と自文化を比較して相違性或共通性を理解し、自らの言葉で詳しく記述できた	目標文化と自文化を比較して相違性或共通性を理解しようとはしているが、記述が十分ではなかった	目標文化と自文化を比較して相違性或共通性を理解しようとする姿勢が不十分であった

目標分解

個々のタスク	小目標	中目標	大目標	テーマ
各言語での表現や文型の導入	休日の過ごし方について尋ねたり、答えたりすることができる。	休日の過ごし方や趣味について話し合う。	自分の休日の過ごし方について、趣味なども交えて n 語でプレゼンテーションすることができる。日本語を学習している n 語話者のプレゼンも聞き、自分たちの過ごし方と比較することができる。	【テーマ】 若者の休日の過ごし方ランキング！ 【場面状況】a 大学で n 語を学んでいる学生が、日本語を学ぶ n 語母語話者との交流会において、お互いの国の若者の休日の過ごし方についてそれぞれの学習言語で発表することになった。
全体で集計をとる。	趣味について尋ねたり、答えたりすることができる。			
上位 5 項目のランキングを決める。	休日の過ごし方についてランキングをもとにグループ分けをする。			
グループ分けをする。	いつ行うかを表現できる。	個々の活動内容について報告する。		
各言語での表現や文型の導入	どこで行うかを表現できる。			
	何を行うかを表現できる。			
	誰と行うかを表現できる。			
【形成的評価】個々の活動内容について n 語で記述し提出する。(成績に含まれる)				
休日の活動内容をグループで共有する。	グループごとに台本の内容を決める。	台本を作成する。		
何をどう発表するか検討する。				
【形成的評価】まとめたものを n 語で書いて提出する。(成績に含まれる)				
視聴覚を集める。	発表用のスライド資料を作成する。	自分たちの活動内容についてのプレゼンテーションをすることができる。		
コメントやデザインを考える。				
分担を決め、台本を暗記する。				
グループ内で練習する。				
【形成的評価】全体でリハーサルを行い、フィードバックをする。(成績には含まれない)				
フィードバックに基づいて修正する。	プレゼンテーションを完成させる。			
再度練習する。				
【総括的評価のための活動】プレゼンテーションを行い、お互いのプレゼンテーションを聞き、質疑応答を行う。後日振り返りシートを記入し提出する。振り返りシートの内容をクラス内で共有し、母語でディスカッションして全体のまとめとする。				